

2 届出排出量及び移動量の状況

(1) 届出状況

平成 20 年度には、平成 19 年度に県内の事業者が把握した排出量及び移動量について、1,732 事業所（平成 19 年度届出事業所数：1,778 事業所）から届出がありました。全国では 40,725 事業所から届出があり、本県は全国第 5 位（平成 19 年度：第 5 位）で、全国の届出件数に占める割合は 4.3% でした。

業種別の届出状況は、表 2 のとおりです。

表 2 業種別の届出状況

業種名	届出事業所数	届出物質種類数	業種名	届出事業所数	届出物質種類数
食料品製造業	10	9	電気業	7	5
飲料・たばこ・飼料製造業	4	5	ガス業	3	2
衣服・その他の繊維製品製造業	1	3	熱供給業	2	1
家具・装備品製造業	2	5	下水道業	40	31
パルプ・紙・紙加工品製造業	11	6	鉄道業	2	2
出版・印刷・同関連産業	14	16	倉庫業	11	21
化学工業	147	152	石油卸売業	14	5
石油製品・石炭製品製造業	15	27	鉄スクラップ卸売業	1	1
プラスチック製品製造業	49	52	自動車卸売業	1	1
ゴム製品製造業	9	46	燃料小売業	747	6
なめし革・同製品・毛皮製造業	1	1	洗濯業	13	4
窯業・土石製品製造業	20	22	自動車整備業	114	6
鉄鋼業	13	26	機械修理業	3	3
非鉄金属製造業	26	27	商品検査業	4	8
金属製品製造業	100	31	計量証明業	3	2
一般機械器具製造業	46	26	一般廃棄物処理業	52	31
電気機械器具製造業	72	35	産業廃棄物処分業	22	38
輸送用機械器具製造業	94	45	高等教育機関	7	6
精密機械器具製造業	9	7	自然科学研究所	26	16
武器製造業	1	1			
その他の製造業	16	11	合 計	1,732	172

(2) 届出排出量・移動量の集計結果

ア 全物質の届出排出量・移動量

平成 20 年度に県内の事業所から届出のあった平成 19 年度の届出排出量・移動量全体の内訳は、総届出排出量・移動量 23,298 トンに対して、総届出排出量 9,250 トン、総届出移動量 14,048 トンとなり（表 2-2）、全体に占める割合は、それぞれ、39.7%、60.3%でした。（図 2）（市町村別のデータは別紙 2 を参照。）

全国に占める割合は、全国の総届出排出量・移動量 457,023 トンに対し 5.1%（全国第 4 位）、総届出排出量 234,299 トンに対し 3.9%（全国第 7 位）、総届出移動量 222,724 トンに対し 6.3%（全国第 3 位）でした。

表 2-2 総届出排出量・移動量

(トン/年)

		H19	H18	H17	H16	H15	H14	H13
総届出 排出量	大気への排出	8,909	9,288	10,329	10,827	11,716	10,746	11,806
	公共用水域への排出	341	342	356	396	395	408	399
	土壌への排出	0	0	0	0	0.001	0.002	0.011
	事業所内での埋立処分	0	0	213	732	535	534	534
	小 計	9,250	9,630	10,898	11,955	12,646	11,687	12,739
総届出 移動量	事業所外への廃棄物としての移動	13,919	14,410	14,053	12,392	11,635	10,491	11,361
	下水道への移動	129	124	107	104	114	107	137
	小 計	14,048	14,535	14,160	12,496	11,749	10,598	11,498
合 計		23,298	24,165	25,058	24,451	24,395	22,285	24,237

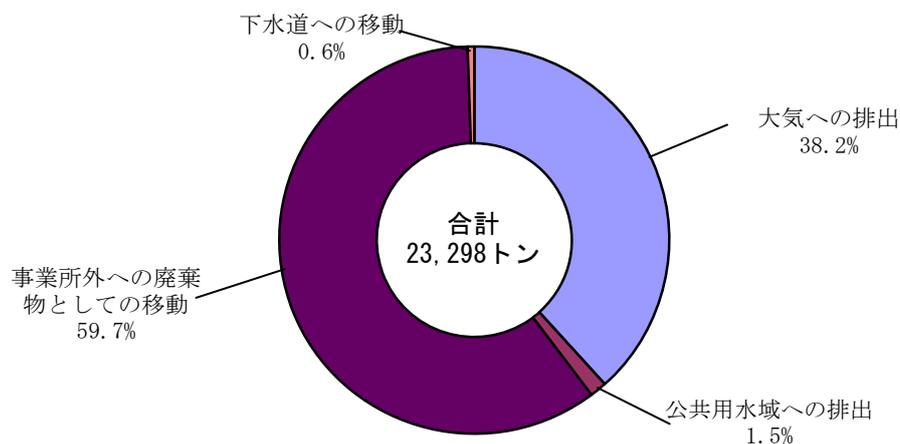


図 2 総届出排出量・移動量に対する排出先・移動先の割合

イ 届出排出量・移動量の状況

総届出排出量・移動量に占める排出量・移動量の割合が大きい上位 10 物質は、図 2-2 のとおりです。上位 10 物質の排出量・移動量の合計は 17,773 トンで、総届出排出量・移動量 23,298 トンに占める割合は 76.3% でした。(物質別のデータは、別紙 3 を参照。)

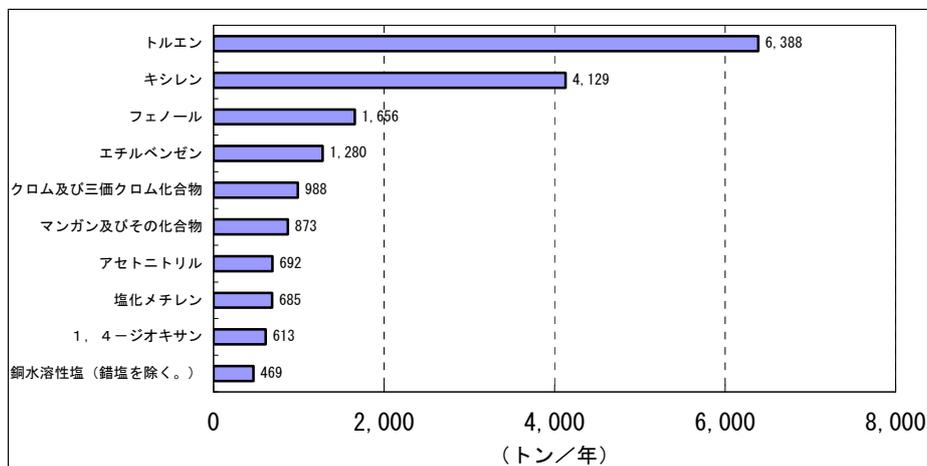


図 2-2 届出排出量・移動量上位 10 物質

平成 19 年度の総届出排出量・移動量に占める排出量・移動量の割合が大きい上位 5 物質の過去 7 年間の排出量・移動量と主な用途は表 2-3 のとおりです。

表 2-3 届出排出量・移動量上位 5 物質

物質名	排出量・移動量 (トン/年)														主な用途
	H19		H18		H17		H16		H15		H14		H13		
	量	順位	量	順位	量	順位	量	順位	量	順位	量	順位	量	順位	
トルエン	6,388	1	6,794	1	6,769	1	7,013	1	7,367	1	7,203	1	7,321	1	合成原料、ガソリン成分、溶剤等
キシレン	4,129	2	4,722	2	5,534	2	4,917	2	5,186	2	4,095	2	4,786	2	合成原料、ガソリン・灯油成分、溶剤等
フェノール	1,656	3	1,545	3	1,238	4	1,144	4	366	12	37	50	33	56	合成樹脂原料、合成原料等
エチルベンゼン	1,280	4	1,282	4	1,476	3	1,031	5	1,087	4	816	4	832	4	合成原料、溶剤等
クロム及び三価クロム化合物	988	5	950	5	800	6	609	7	391	10	358	10	374	11	ステンレス鋼、メッキ等

ウ 届出排出量の状況

届出排出量の多い上位 10 物質は、図 2-3 のとおりです。上位 10 物質の排出量の合計は 8,611 トンで、総届出排出量 9,250 トンに占める割合は 93.1%でした。

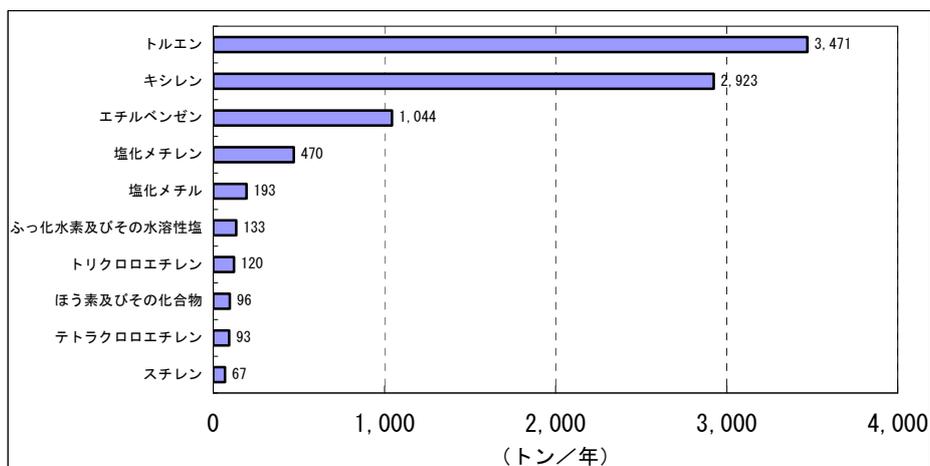


図 2-3 届出排出量上位 10 物質

平成 19 年度の届出排出量が多い上位 5 物質の過去 7 年間の排出量と主な用途は表 2-4 のとおりです。

表 2-4 届出排出量上位 5 物質

物質名	排出量 (トン/年)										主な用途				
	H19		H18		H17		H16		H15			H14		H13	
	順位	順位	順位	順位	順位	順位	順位	順位	順位	順位	順位	順位	順位	順位	
トルエン	3,471	1	3,519	1	3,722	1	4,347	1	4,493	1	4,069	1	4,287	1	合成原料、ガソリン成分、溶剤等
キシレン	2,923	2	3,077	2	3,523	2	3,397	2	3,627	2	3,169	2	3,629	2	合成原料、ガソリン・灯油成分、溶剤等
エチルベンゼン	1,044	3	1,066	3	1,131	3	793	4	817	4	604	4	547	4	合成原料、溶剤等
塩化メチレン	470	4	591	4	813	4	909	3	1,051	3	1,082	3	1,186	3	洗浄剤、溶剤等
塩化メチル	193	5	185	5	194	5	300	6	300	5	267	6	347	5	合成原料、溶剤等

エ 届出移動量の状況

届出移動量の多い上位 10 物質は、図 2-4 のとおりです。上位 10 物質の移動量の合計は 10,211 トンで、総届出移動量 14,048 トンに占める割合は 72.7%でした。

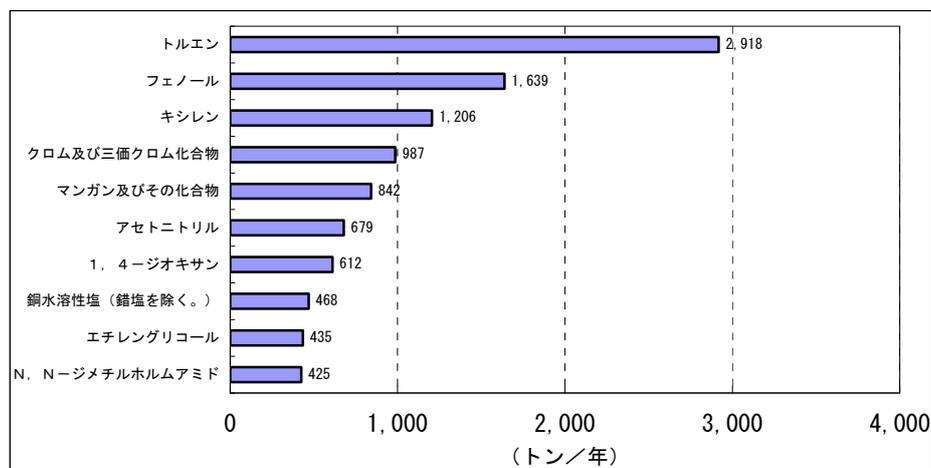


図 2-4 届出移動量上位 10 物質

平成 19 年度の届出移動量が多い上位 5 物質の過去 7 年間の移動量と主な用途は表 2-5 のとおりです。

表 2-5 届出移動量上位 5 物質

物質名	移動量 (トン/年)														主な用途
	H19		H18		H17		H16		H15		H14		H13		
	移動量	順位	移動量	順位	移動量	順位	移動量	順位	移動量	順位	移動量	順位	移動量	順位	
トルエン	2,918	1	3,275	1	3,047	1	2,666	1	2,874	1	3,133	1	3,034	1	合成原料、ガソリン成分、溶剤等
フェノール	1,639	2	1,531	3	1,228	3	1,135	3	359	7	32	39	26	42	合成樹脂原料、合成原料等
キシレン	1,206	3	1,645	2	2,012	2	1,520	2	1,558	2	926	2	1,156	2	合成原料、ガソリン・灯油成分、溶剤等
クロム及び三価クロム化合物	987	4	949	4	640	5	329	9	170	17	147	17	162	18	ステンレス鋼、メッキ等
マンガン及びその化合物	842	5	857	5	711	4	245	12	135	22	144	19	157	19	特殊鋼、電池、磁性材料等

オ 届出排出量の排出先ごとの状況

(7) 大気への排出状況

大気への排出量は 8,909 トンで、総届出排出量 9,250 トンに占める割合は 96.3%でした。

排出量の多い上位 10 物質は、図 2 - 5 のとおりです。上位 10 物質の排出量の合計は 8,500 トンで、大気への排出量全体に占める割合は 95.4%でした。

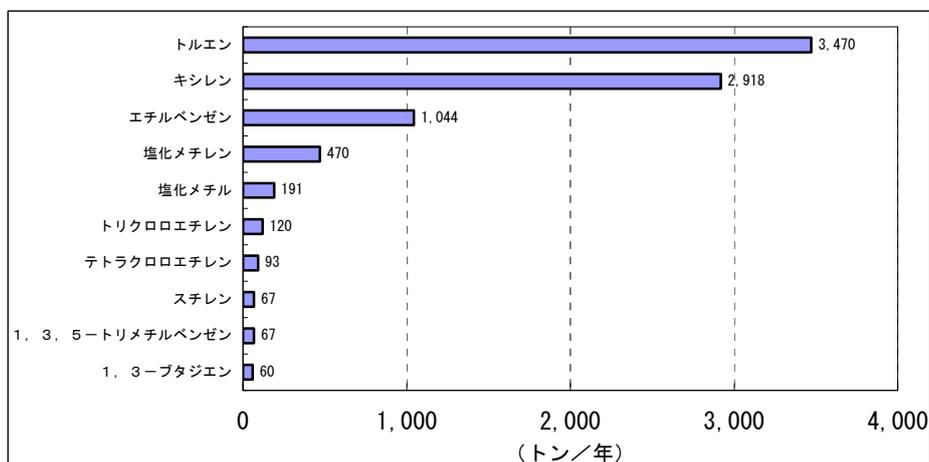


図 2 - 5 大気への排出量上位 10 物質

平成 19 年度の大気への排出量が多い上位 5 物質の過去 7 年間の排出量と主な用途は表 2 - 6 のとおりです。

表 2 - 6 大気への排出量上位 5 物質

物質名	排出量 (トン/年)										主な用途				
	H19		H18		H17		H16		H15			H14		H13	
	順位	排出量	順位	排出量	順位	排出量	順位	排出量	順位	排出量	順位	排出量	順位	排出量	
トルエン	3,470	1	3,518	1	3,722	1	4,347	1	4,493	1	4,069	1	4,286	1	合成原料、ガソリン成分、溶剤等
キシレン	2,918	2	3,071	2	3,520	2	3,394	2	3,625	2	3,167	2	3,629	2	合成原料、ガソリン・灯油成分、溶剤等
エチルベンゼン	1,044	3	1,066	3	1,131	3	793	4	817	4	604	4	547	4	合成原料、溶剤等
塩化メチレン	470	4	591	4	813	4	909	3	1,050	3	1,082	3	1,185	3	洗浄剤、溶剤等
塩化メチル	191	5	182	5	192	5	297	5	298	5	265	5	345	5	合成原料、溶剤等

(イ) 公共用水域への排出状況

公共用水域への排出量は 341 トンで、総届出排出量 9,250 トンに占める割合は 3.7% でした。

排出量の多い上位 10 物質は、図 2 - 6 のとおりです。上位 10 物質の排出量の合計は 324 トンで、公共用水域への排出量全体に占める割合は 95.0% でした。

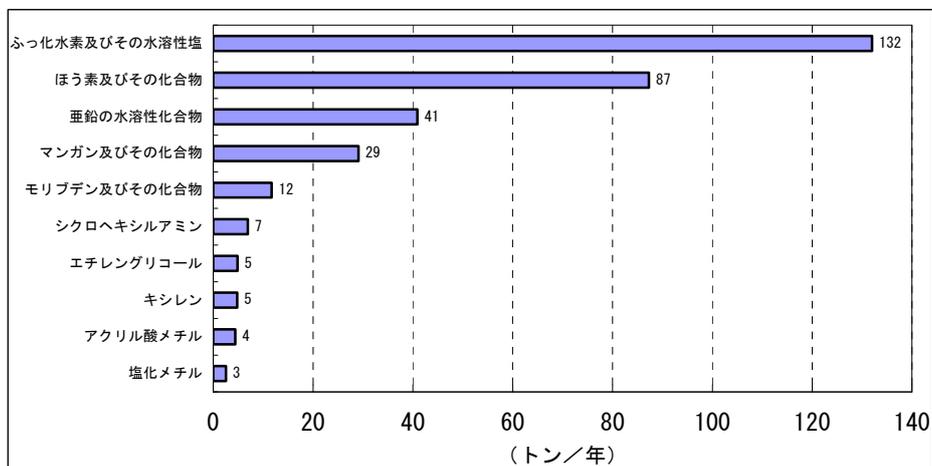


図 2 - 6 公共用水域への排出量上位 10 物質

平成 19 年度の公共用水域への排出量が多い上位 5 物質の過去 7 年間の排出量と主な用途は表 2 - 7 のとおりです。

表 2 - 7 公共用水域への排出量上位 5 物質

物質名	排出量 (トン/年)										主な用途				
	H19		H18		H17		H16		H15			H14		H13	
	順位	排出量	順位	排出量	順位	排出量	順位	排出量	順位	排出量		順位	排出量	順位	排出量
ふっ化水素及びその水溶性塩	132	1	124	1	121	1	139	1	149	1	170	1	126	1	合成原料、エッチング剤等
ほう素及びその化合物	87	2	79	2	114	2	127	2	113	2	111	2	123	2	ドーピング剤、脱酸素剤等
亜鉛の水溶性化合物	41	3	41	3	37	3	53	3	48	3	46	3	48	3	金属表面処理剤、乾電池等
マンガン及びその化合物	29	4	34	4	26	4	27	4	25	4	27	4	35	4	特殊鋼、電池、酸化剤等
モリブデン及びその化合物	12	5	10	6	10	5	10	5	13	5	13	5	7	6	特殊鋼、顔料、触媒等

水域別の排出量は、表 2-8 のとおりです。

表 2-8 水域別排出量

(トン/年)

水域名称		排出量	水域名称		排出量
河川	相模川	21	河川	千歳川	0.71
	鶴見川	16		平作川	0.63
	境川	8.9		鳩川	0.18
	多摩川	7.5		恩田川	0.15
	矢上川	5.3		森戸川	0.045
	酒匂川	5.3		中村川	0.0086
	入江川	4.9		狩川	0.0031
	柏尾川	4.0		中津川	0.00060
	目久尻川	3.2		葛川 [※]	0.00000
	引地川	2.8		河川計	
	麻生川	1.9	海域	東京湾	212
	玉川	1.3		相模湾	43
	金目川	0.97	海域計		255
	早川	0.91	合計		341
	松越川	0.72			

※0.0015mg-TEQ

(ウ) 土壌への排出状況

平成 19 年度は、土壌への排出の届出はありませんでした。

(エ) 事業所における埋立処分の状況

事業所内で埋立処分を行ったという届出があったのは、ダイオキシン類のみで、埋立処分の量は 1,920mg-TEQ でした。

カ 届出移動量の移動先ごとの状況

(7) 廃棄物としての移動量

廃棄物としての移動量は13,919トンで、総届出移動量14,048トンに占める割合は99.1%でした。

移動量の多い上位10物質は、図2-7のとおりです。上位10物質の移動量の合計は10,153トンで、廃棄物としての移動量全体に占める割合は72.9%でした。

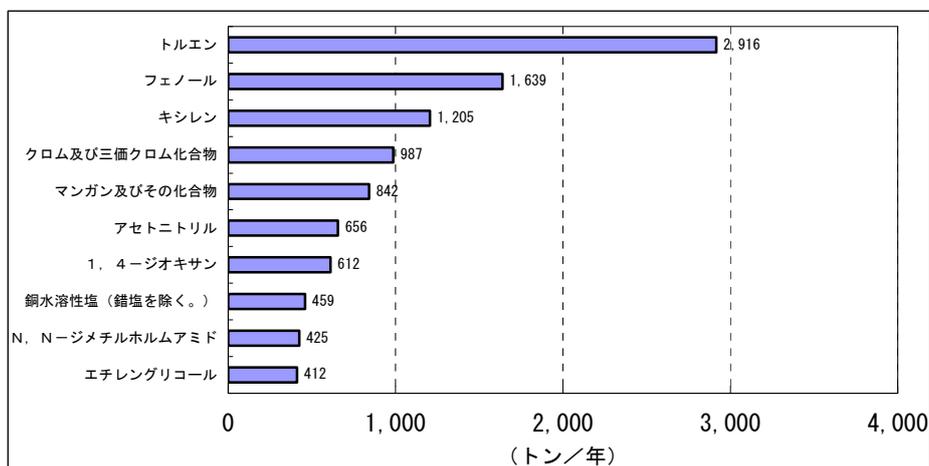


図2-7 廃棄物としての移動量上位10物質

平成19年度の廃棄物としての移動量が多い上位5物質の過去7年間の移動量と主な用途は表2-9のとおりです。

表2-9 廃棄物としての移動量上位5物質

物質名	移動量 (トン/年)														主な用途
	H19		H18		H17		H16		H15		H14		H13		
	順位	順位	順位	順位	順位	順位	順位	順位	順位	順位	順位	順位	順位	順位	
トルエン	2,916	1	3,272	1	3,044	1	2,663	1	2,873	1	3,131	1	3,033	1	合成原料、ガソリン成分、溶剤等
フェノール	1,639	2	1,531	3	1,228	3	1,135	3	359	7	32	39	26	42	合成樹脂原料、合成原料等
キシレン	1,205	3	1,645	2	2,011	2	1,518	2	1,555	2	916	2	1,140	2	合成原料、ガソリン・灯油成分、溶剤等
クロム及び三価クロム化合物	987	4	949	4	640	5	326	9	167	17	145	17	161	18	ステンレス鋼、メッキ等
マンガン及びその化合物	842	5	856	5	711	4	245	12	135	21	144	19	157	19	特殊鋼、電池、磁性材料等

(イ) 下水道への移動量

下水道への移動量は 129 トンで、総届出移動量 14,048 トンに占める割合は 0.9%でした。

移動量の多い上位 10 物質は、図 2-8 のとおりです。上位 10 物質の移動量の合計は 120 トンで、下水道への移動量全体に占める割合は 93.0%でした。

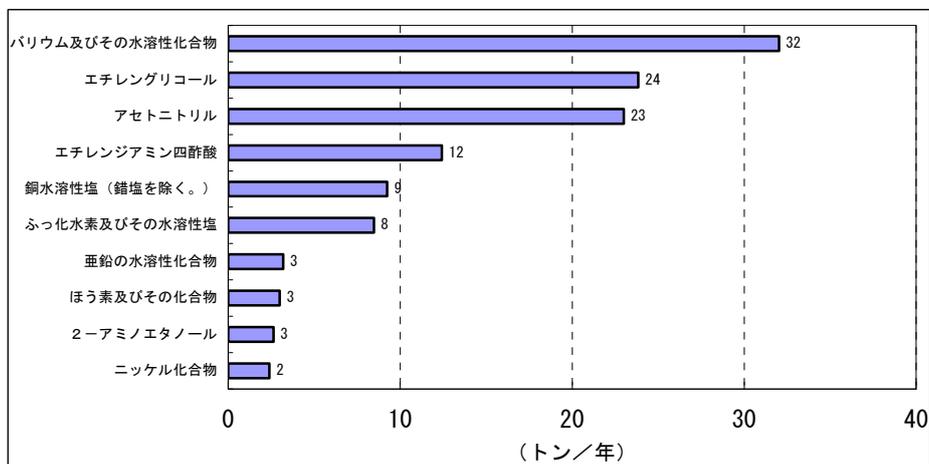


図 2-8 下水道への移動量上位 10 物質

平成 19 年度の下水道への移動量が多い上位 5 物質の過去 7 年間の移動量と主な用途は表 2-10 のとおりです。

表 2-10 下水道への移動量上位 5 物質

物質名	移動量 (トン/年)												主な用途		
	H19		H18		H17		H16		H15		H14			H13	
	順位	順位	順位	順位	順位	順位	順位	順位	順位	順位	順位	順位			
バリウム及びその水溶性化合物	32	1	30	1	34	1	24	2	35	1	26	1	10	5	紙加工材、ガラス材料、顔料等
エチレングリコール	24	2	24	2	25	2	29	1	29	2	17	3	36	1	合成樹脂原料、不凍液等
アセトニトリル	23	3	18	3	2	9	0.4	21	1	20	0.3	20	0.5	17	合成原料、溶剤、電池の電解液等
エチレンジアミン四酢酸	12	4	14	4	8	3	9	3	9	3	9	5	15	4	加工材、安定剤、重合開始剤等
銅水溶性塩 (錯塩を除く。)	9	5	10	5	2	11	2	12	2	12	0.4	15	0.4	18	メッキ、電池、顔料、触媒等

キ 業種別の排出・移動状況

(7) 届出排出量・移動量

製造業からの届出排出量・移動量の合計は 22,464 トンで、総届出排出量・移動量 23,298 トンの 96.4%を占めていました。

届出排出量・移動量の多い上位 10 業種は、図 2-9 のとおりです。上位 10 業種の排出量・移動量の合計は 21,690 トンで、総届出排出量・移動量に占める割合は 93.1%でした。(業種別のデータは、別紙 4 を参照。)

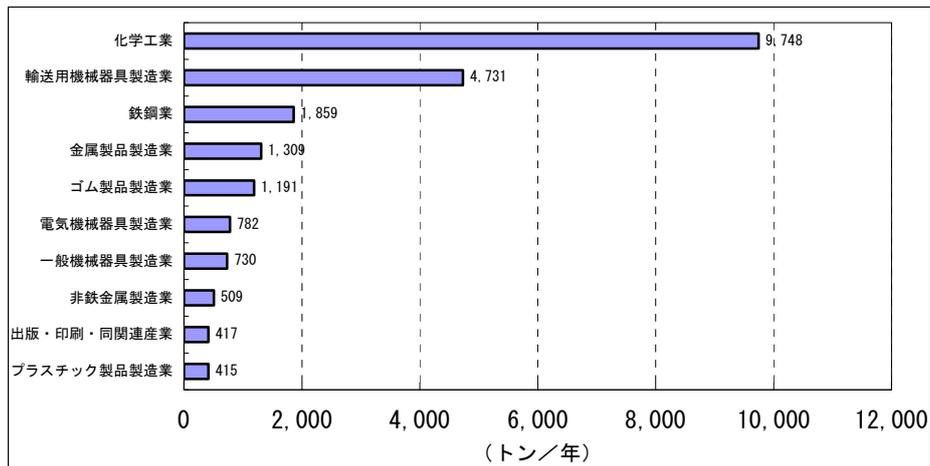


図 2-9 届出排出量・移動量上位 10 業種

平成 19 年度の届出排出量・移動量が多い上位 5 物質の過去 7 年間の排出量・移動量と主な用途は表 2-11 のとおりです。

表 2-11 届出排出量・移動量上位 5 業種

業種名	排出量・移動量 (トン/年)														主な物質
	H19		H18		H17		H16		H15		H14		H13		
	順位	量	順位	量	順位	量	順位	量	順位	量	順位	量	順位	量	
化学工業	9,748	1	10,189	1	9,826	1	9,257	1	8,391	1	8,564	1	9,146	1	トルエン、フェノール、キシレン
輸送用機械器具製造業	4,731	2	5,137	2	6,370	2	5,606	2	5,903	2	5,259	2	5,982	2	キシレン、トルエン、エチルベンゼン
鉄鋼業	1,859	3	1,796	3	1,670	3	1,496	4	1,133	6	1,047	5	1,107	5	クロム及び三価クロム化合物、マンガ及びその化合物、キシレン
金属製品製造業	1,309	4	1,304	4	1,316	4	1,322	5	1,418	4	1,276	4	1,580	4	キシレン、亜鉛の水溶性化合物、トルエン
ゴム製品製造業	1,191	5	1,164	5	1,123	5	1,547	3	2,084	3	1,773	3	1,404	3	トルエン、キシレン、塩化メチレン

(イ) 届出排出量

製造業からの届出排出量の合計は 8,868 トンで、総届出排出量 9,250 トンの 95.9%を占めていました。

排出量の多い上位 10 業種は、図 2-10 のとおりです。上位 10 業種の排出量の合計は 8,544 トンで、総届出排出量に占める割合は 92.4%でした。

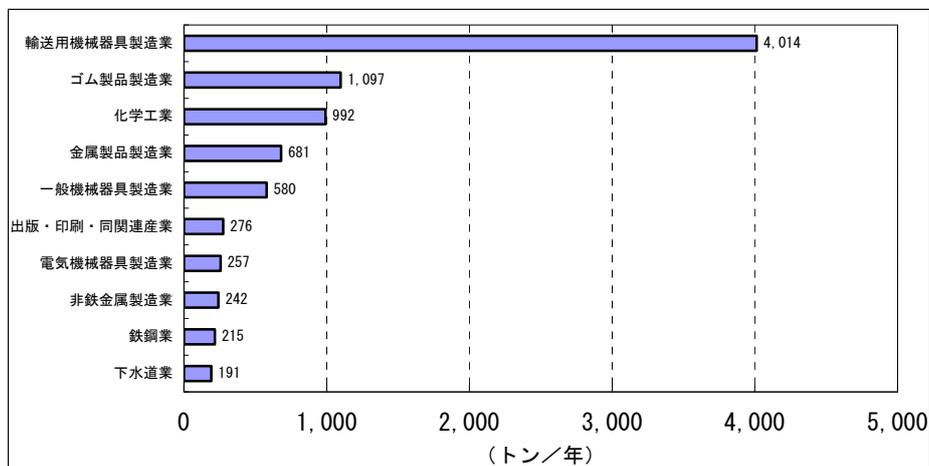


図 2-10 届出排出量上位 10 業種

平成 19 年度の届出排出量が多い上位 5 物質の過去 7 年間の排出量と主な用途は表 2-12 のとおりです。

表 2-12 届出排出量上位 5 業種

業種名	排出量 (トン/年)														主な物質
	H19		H18		H17		H16		H15		H14		H13		
	順位	排出量	順位	排出量	順位	排出量	順位	排出量	順位	排出量	順位	排出量	順位	排出量	
輸送用機械器具製造業	4,014	1	4,283	1	4,998	1	4,622	1	4,885	1	4,320	1	4,667	1	キシレン、トルエン、エチルベンゼン
ゴム製品製造業	1,097	2	1,069	3	1,021	3	1,437	3	1,758	3	1,437	3	1,090	4	トルエン、キシレン、塩化メチレン
化学工業	992	3	1,115	2	1,312	2	1,594	2	1,798	2	2,031	2	2,210	2	トルエン、塩化メチレン、塩化メチル
金属製品製造業	681	4	688	4	704	4	750	5	855	5	905	5	1,136	3	キシレン、エチルベンゼン、トルエン、
一般機械器具製造業	580	5	580	5	473	5	434	6	426	7	321	7	494	7	トルエン、キシレン、塩化メチレン

(ウ) 届出移動量

製造業からの届出移動量の合計は13,596トンで、総届出移動量14,048トンの96.8%を占めていました。

移動量の多い上位10業種は、図2-11のとおりです。上位10業種の移動量の合計は13,308トンで、総届出移動量に占める割合は94.7%でした。

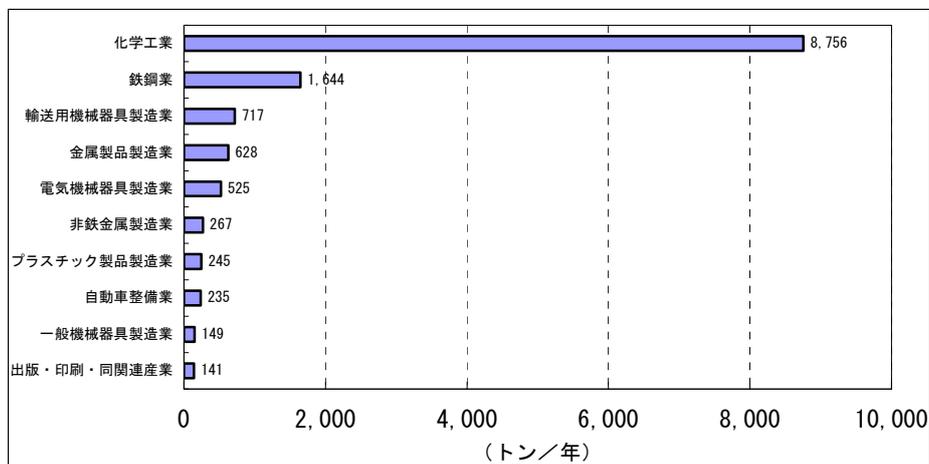


図2-11 届出移動量上位10業種

平成19年度の届出移動量が多い上位5物質の過去7年間の移動量と主な用途は表2-13のとおりです。

表2-13 届出移動量上位5業種

業種名	移動量 (トン/年)												主な物質		
	H19		H18		H17		H16		H15		H14			H13	
	順位	移動量	順位	移動量	順位	移動量	順位	移動量	順位	移動量	順位	移動量		順位	移動量
化学工業	8,756	1	9,074	1	8,515	1	7,663	1	6,593	1	6,533	1	6,936	1	トルエン、フェノール、キシレン
鉄鋼業	1,644	2	1,574	2	1,197	3	457	5	256	9	224	9	275	8	クロム及び三価クロム化合物、マンガ、モリブデン及びその化合物及びその化合物
輸送用機械器具製造業	717	3	854	3	1,372	2	984	2	1,018	2	939	2	1,316	2	トルエン、キシレン、ビスフェノールA型エポキシ樹脂
金属製品製造業	628	4	616	4	613	4	572	4	563	4	371	5	444	4	亜鉛の水溶性化合物、キシレン、トルエン
電気機械器具製造業	525	5	482	5	515	5	634	3	869	3	647	3	761	3	銅水溶性塩（錯塩を除く。）、トルエン、ふっ化水素及びその水溶性塩